



建交労 2023 年春闘中央討論集会を開催！ 県本部は清野副委員長&南須原書記次長参加

11月26日～27日に伊豆長岡のホテルサンバレー富士見で開催された2023年春闘中央討論集会に全国から81名が参加し、神奈川県からはダンプ支部の南須原さんと県本部を代表して清野が参加しました。

森谷副委員長の開会挨拶で始まり、座長には足立副委員長が選出されました。主催者挨拶では、角田委員長から春闘をどう闘い抜くのか、組織拡大をどう進めるの



春闘討論集会で主催者挨拶と問題提起する角田委員長

かといった「問題提起」がされました。

その後廣瀬書記長から「賃金闘争の推進で物価高騰を乗り越えよう いまこそ建交労の総力を発揮しよう」の2023年春闘スローガンを掲げた春闘方針案が提起されました。

問題提起と春闘方針案を受けた参加者はA～Dの分散・分科会【①（A、B班）全組合員参加の運動と要求闘争（春闘へ向けた各自の受け止め及び職場状況など）、②（C班）組織の拡大・強化、③（D班）は労災職業病について】の4班に分かれて討論に入りました。



春闘方針を提起する廣瀬肇書記長

私（清野）が参加したA班は25名が参加し座長には鈴木書記次長、助言者に福岡の緒方さん、報告者は神田支部の上村さんが選ばれました。討論の中で私は「現在、神奈川の組織は15年前に比べて分会数、組合員数ともに半数以下になってしまい、組織の回復が急務になっている。みなさんの所ではどのような事をして組織拡大に取り組んでいるのか」と問いかけました。大阪の植西さんからは「泊まりで学習交流会をおこなった。若い人がたくさん参加してとても良かった」と報告していただいたので「神奈川県南支部でも取り組めるよう議論し、実現出来たときは報告する」と応えてとても良い討論になりました。討論集会の2日目（27日）は各分散・分科会の報告からはじまり、全体討論では神奈川県ダンプ支部の南須原さんが三昭運輸争議の和解報告と自身の争議報告をして支援を訴えました。南須原さんを含め6名から発言があり、廣瀬書記長のまとめ、石田副委員長の閉会挨拶・角田執行委員長の団結がんばろうで終了しました。



発言する神奈川県ダンプの南須原さん

全国トラック部会の第24回定期総会には 神奈川県南支部から清野副委員長が参加

中央春闘討論集会終了後の11:00からは同じ会場内で全国トラック部会第24回定期総会が開催され全国から43人が参加し神奈川県南支部からは清野（副委員長）が春闘討論集会に続いて参加しました。総会は緒方事務局次長の開会挨拶で始まり松澤副部長が議長に選出されました。

足立部会長の主催者挨拶では「トラック政策を基本に運動を展開していくことが重要」であることが強調されました。続いて角田中央執行委員長からは「全国の仲間が情報を共有することが大事であり、そのためにSNSをはじめとする様々な情報ツールを積極的に活用しよう」と全組合員参加の積極的な運動展開を呼びかける挨拶がされました。



神奈川県南支部で発言する清野副委員長

その後、鈴木事務局長から2022年度のまとめと「安全・安心なトラック運輸産業をめざして、賃下げのない時短を実現する経済闘争を強化しよう！2024年問題への対応に全力を！」とのスローガンを掲げた2023年度方針（案）に加えて“トラック政策2022”が提案されました。

昼食休憩のあと上村副部長から2022年度会計報告と2023年度会計予算の提案がされ、鈴木洋平会計監査の監査報告があり全体討論に入りました。

参加者43名中半数近い19名が討論に参加しました。

私（清野）からは、まず三昭運輸分会争議の中労委での和解解決について「県労委の命令では、3期分の未払い一時金のうち救済されたのは2期分の一時金だけでしたが中労委の和解では3期分すべての一時金支払いが認められました。これは分会の奮闘をはじめ、全国の仲間の激励と支援に支えられた運動の成果だと思えます。改めて全国の仲間にお礼を申し上げます。また、悪質社労士追及の課題では東京都社労士会から当該社労士に対し注意勧告を発出させることに成功し、これを不服とした同社労士が“勧告の取り消し”を求めた裁判は2021年12月24日に敗訴、注意勧告が確定しました。この実績は全国の団交に介入する悪質社労士に活用できると思えます」と報告しました。さらに神奈川県南支部の今後の最大の課題である「組織の拡大・強化」について発言しました。

全体討論のあと鈴木事務局長のまとめと緒方事務局次長から2022年度役員体制の提案がありました。

全ての提案は満場一致の拍手で採択され、つづいて早田幹事から提案された総会宣言についても満場一致で採択されました。新旧役員あいさつのあとに、津村副部長の閉会あいさつ、足立部会長の団結ガンバローで終了しました。（1～2面とも清野副委員長の報告）



2023年度の方針案などを提案する鈴木事務局長

